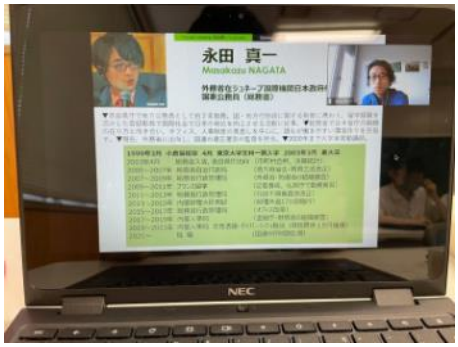
令和５年度 東京体験学習　　事前研修（7/25(火)）

世界から見た日本

作成者 2年7組 八木優太



小倉高校OBで総務省に所属されている永田真一さんに、zoomでお話をうかがいました。現在はスイスのジュネーブで国連の行財政監督として勤務されるなど、世界で活躍する永田さんに、「世界から見た日本」について話していただきました。

１．日本と海外の違い

安倍元総理と世界を飛び回ったこともある永田さんは、まず日本と海外との認識の違いについて話してくださいました。天皇陛下の権威への認識や男女格差に関する認識が海外では全く異なるそうです。日本と海外では違うことが多くあります。ましてや日本の中の小倉という１つの街に住む私たちにとって、「現状を認識する」ことがいかに大切であるかを知りました。

２．リーダーにとって大切なこと

「リーダーに大切なこと」と聞いて何を思い浮かべますか？

永田さんは次の２つを挙げてくださいました。

- 状況に応じて、相手側の立場に立ち、適切な判断ができるマネジメント力をもつこと
- 上司として部下や同僚に対して、親が子に接するような気持ちで接すること

さらに、政治を行う際には「答えのない問題に対して、答えを出して責任を持つこと」が必要であり、そこが政治の難しさであると教えていただきました。

３．失敗の重要性

私たちは、よくテレビなどで美談や成功体験を耳にします。また、研修会では「どのように成功したのか」を質問することが多いものです。しかし、永田さんからは失敗談を聞くことの重要性を教えていただき、東京訪問の際に質問するとよいとアドバイスをいただきました。失敗をどのように乗り切ったか。そこに学ぶべき教訓が多くあると考えました。

最後に永田さんはこのようにおっしゃいました。

「失敗から学ぶことは多い。が、失敗するには挑戦しなければならない。故に挑戦しろ。そして、目的を忘れるな。」この言葉は、今でも強く心に残っています。

感想

「目的を忘れるな」という言葉は日々、義務感で勉強を続けていた私に深く刺さりました。「自分は何を目標にしているのか、何のために生きているのか」について考え直すきっかけにもなる貴重な経験となりました。